

みづき

大垣女子短期大学通信

mizuki

Autumn
2010

No.25 秋

CONTENTS

CLOSE UP	1	互いに育ち合う笑顔の子育て支援を	3	研究室から	8
巻頭言「同じ時間を共有する」.....	1	学科だより	4	大垣女子短期大学での思い出	9
特色ある教育を目指して	2	CLUB ACTIVITIES	6	Information	10
教育GPの取組が最終年度を迎えました	3	学友会だより	8	「おにごっこ」で子どもの健やかな発達を	12



観光フォーラムを開催



2月20日、本学みづきホールにおいて、観光と交流と創造と題して、ハンガリー、オーストリア、日本と岐阜県から観光局長をお迎えし、国際交流を推進している本学から地域へ情報を発信しようと企画し開催しました。日本の四季が醸し出す自然や文化の美しさをアピールし、また岐阜県のもつ魅力を見つめながら、諸外国の特色ある文化に触れ、交流を図りつつ豊かな文化の形成につながるよう期待します。といった意見交換が行われました。その後、三ヶ国にちなんだ曲をピアノにより演奏し、楽しい一時となりました。大垣は豊かな自然や文化の香りが高く、積極的に情報を発信していきたいと考えています。



子育て支援に関するシンポジウムを開催

6月27日みづきホールにおいて、子育て支援に関するシンポジウム(詳細は P3)を開催しました。本学幼稚教育科の教員をはじめ、大垣市の子育て支援部長や保育園長をお招きして地域全体で子どもを見守り育てるといった意見が交わされました。本学においても幼稚教育科を中心とした様々な子育て支援事業が「子育てサロン」などで展開され、学生の教育方法の改善に役立っています。当日は教育GPとの関連で、学生が自分たちの活動を振り返り、発表するという貴重な経験を積みました。



幼稚教育科教授 役田 亨



巻頭言 同じ時間を共有する

今年の夏はひときわ暑いようだ。飛騨の山中に育った私は、少年時代、この季節になると毎日、暗くなるまで時間を使い、川遊びに興じていた。川にもぐり、川の主?岩魚と目があった感動は今も新鮮に思い出す。

以前、今の子どもと昔の子どもとどちらが幸せだと思うか学生に尋ねたことがあった。「昔の子どものほうが幸せと思う」という答えが圧倒的に多かった。物は余るほど豊かになり、科学技術の発達で至れり尽くせりの便利さを享受しているにも関わらず、不便な昔の時代(昭和20年代あたり?)の方が幸せに感じてしまうのはどうしてであろうか。今と比べゆったりと時間が流れ、人と人の心の関わりが豊かであったことも理由のひとつ

ではないだろうか。

先日、7年前の卒業生の結婚式に招かれた。月日は経ったが、共有した時間は、色あせることなく新鮮に思い出されて楽しかった。学内子育てサロン「ぶつぶつ」にも卒業生が子どもを連れて訪れてくれる。実家のように訪ねてくれるのを嬉しい思ながら、人と人の関わりでは、「ただ一緒に時を過ごした」ではなく、「同じ時間を共有する」ことの大切さを感じる。簡単ではないが、これこそ活きた時間といふことができる。

1日24時間、1年365日、時間は誰にも同じだが、同じ時計で測った時間(月日)であっても、内容や質を考えあわせると、全く違う意味を持つ時間になることもある。「ただ時間を過ごせばよい」

のではなく、どう過ごしたのか、本質的なことが問題だ。

「時間」についてしばしば取り上げられる童話、「モモ」(ミヒヤエル・エンデ作/大島かおり訳 岩波書店 1976)では灰色の男たちが町の人々から時間を盗んでいくてしまう。無駄であるような時間が、実は人間にとてはとても大切なことを示唆しているようだ。

慌しさばかりを感じことが多い日々だが、たまには、昔の時間の楽しさは何だったのか、大切な時間とはなんだろうと、ゆっくりジョギングでもしながら考えてみたいと思う。

特色ある教育を目指して

学長 中野 哲

今や我が国では日本歴史上、かつて経験したことのない少子高齢社会といわれる社会構造の変化により教育機関においても大きな影響が出てきています。

高等教育機関全入時代と言われる時代になり、多様な学生を受け入れることとなる大学側の内容が問われることとなっております。

すなわち各大学で特色を活かした教育が行われているのか。社会に貢献できる人材の育成がなされているのかといった教育の内容に多くの关心が払われ、社会からは学生の質の保証が求められるようになってきています。こうして各大学がどのような教育理念に基づいて、どのような教育をするのか、また学生の成績や卒業のための基準を明確にし、それらを一般社会に公表することが求められるようになってきています。

本学は開学以来「中庸を旨とし、勤労を尊び職業人としての総合能力を有する人間性豊かな人材の養成」という建学の精神に基づいた教育を展開してまいりました。近年、働くことに意義を見出せないと感じる現代の社会風潮の中、気が向いた時に働いて自分の収入でそれなりの生活するといった考え方若者の間に浸透しているようにも感じます。社会のために貢献できることや働くことで自己実現を図ることができる喜びを感じる、そんな社会性、積極性や協調性を修得できる教育、すなわち「自律性を持ち品性のある女性のための教育」を本学の教育理念としています。

本学のこうした教育活動は平成17年度、20年度にそれぞれ日本短期大学基準協会、文部科学省から高い評価をうけています。

平成19年度には大垣市と地域連携に関する包括協定を締結し、子育て日本一をめざす大垣市と歩調を合わせた活動も行ってきています。さらに社会貢献を多方面から充実させるべく公開講座、出前講座、各種演奏会や展示会とともに、5年前からのこども祭や教育成果発表会、3年前からのシンポジウムなど市民と一緒にした事業を開催し、地域の皆様に喜ばれるようになってきています。また、昨年から国際交流にも目を向け、音楽関係では著名な外国からの演奏家による指導や演奏、観光フォーラムなどが行われるようになってきています。

こうして4つの異なる学科を擁する総合女子短期大学である本学は、学生は各科での特色ある専門教育を受けながら4学科にわたる共通科目の履修、課外活動での交流などにより、ものの見方や知識を深め、ひいてはコミュニケーション力をごく自然な形で向上させ人間としての幅を持った人材として育っています。

時代を読み、社会とともに歩みながら特色ある教育を実践する本学にご期待下さい。



教育 GPの取組が最終年度を迎えました

総合教育センター長 教授 矢田貝 真一

文部科学省はわが国の高等教育の質保証や国際競争力の強化を図るために、各大学・短期大学・高等専門学校における教育の質向上につながる教育取組の中から、特に優れたものを「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」として選定する事業を行ってきました。

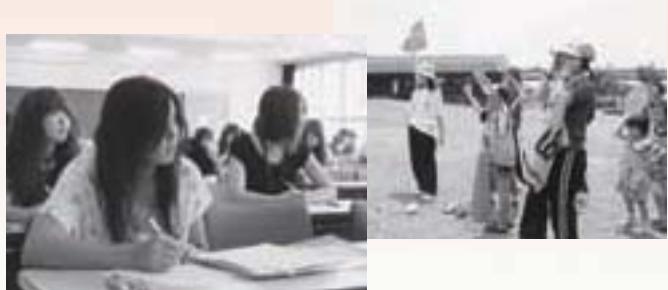
そして本学の「地域の子育て施策を活用した教育方法の改善」の取組が、平成20年度に東海三県の短期大学では唯一、教育GPとして選定されました。平成19年度に大垣市と本学とは連携の強化を目指す包括的協定を結びましたが、「子育て日本一」を目指す大垣市と連携して大学内に子育てサロン「ぶつぶつあ」を開設したことから、この取組は構想されたものでした。

また、この子育てサロンや地域での子育て関連行事に学生たちが学修した成果を発揮しながら参加して、地域のために貢献することを学んでほしいという願いと、そのことを学生たちのより深く充実した学びづくりに活用したいというねらいから、この取組はスタートしています。そして平成20年度から、幼児教育、音楽総合、デザイン美術、歯科衛生の4学科の学生たちは、授業で学んできたそれぞれの専門知識や技能などの成果を活かして、子育てサロン「ぶつぶつあ」や地域の子育て関連行事に参加してきました。専攻が子育てと直接関連のない学科では、最初はとまどいを感じる学生がいたり、子どもたちや保護者との対応に不安を感じた学生がいたりしたことも事実です。

しかし参加することで学生たちは、学んだことが活かせたことや地域の人たちのために役立てたことへの充実感を体験の中で感じ取り、次に学んでいく目標を見つけたり、コミュニケーションの大切さに気づいたり、さまざまな発見をしながら活動を続けてきました。そしてこの取組は、教育GPとしては今年度が最終年に当たる3年目を迎えていました。

教育GPとして選定されて国から予算的な支援も受けたこの取組で、学生たちの学びの場がとても広がりました。来年度からこの取組への予算的な支援も終わりますが、学びの充実のために、また地域への一層の貢献のために、子育て以外の分野にも範囲を広げながら、4学科でさらに発展させた活動を継続していきたいと考えております。

なお、この取組について本年12月4日(土)に「教育GPフォーラム」を開催し、取組の経過と総括、今後の活動内容などを報告させていただくことを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。



互いに育ち合う笑顔の子育て支援を

第3回大垣女子短期大学学術シンポジウム
～子育て支援について考える～

本学の幼児教育科は、保育のスペシャリスト養成を目指し、平成19年に全国でもいち早く教育課程を2年制から3年制に移行しました。平成20年には、子育て日本一の都市づくりを目指す大垣市との提携により、学内に子育てサロン「ぶつぶつあ」を開設し、これを機に幼児教育科を中心に音楽総合科・デザイン美術科・歯科衛生科の4学科の学生が子育てに関わる教育活動を「ぶつぶつあ」などで実践しています。この取り組みは「地域の子育て施策を活用した教育方法の改善～大垣市との連携による子育てサロンの運営を通じた体験学習～」として、平成20年度の質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)に選定されました。

こうした中、大垣市近辺の子育て支援の現状やその望ましいあり方、子どもたちの健やかな育ちのための環境づくり、子育て支援を教育でどう進めていくかなど市民・行政・本学が一体になって考えていく場としてシンポジウムを開催しました。シンポジウムは始めに、4学科の学生が各科で取り組む子育てに関わる教育活動の発表を行いました。それぞれの学科の特長を生かした内容は、今後の子育て支援の枠を広げるばかりでなく、学生自らの学びを深くするものになったと報告されました。

幼児教育科学科長 教授 有岡 登美

基調講演は「幼児期における生育環境の重要性について」と題して中野 哲 学長が子どもの成長には自然環境、社会環境が重要であるばかりでなく、家族と過ごす機会が最も多い幼児期の家族環境が大きく影響すると述べられました。

パネルディスカッションでは、大垣市から加藤悦子 子育て支援部長、坂井秀子 大垣市すもと保育園長、本学からは幼児教育科の役田亨教授、同高田全代准教授をパネリストに、4月に本学に赴任された西川正晃教授をコーディネーターとして、子育て支援には親はもちろんのこと、保育者、学生、地域社会も育ちあっていける双方向的なものが求められ、その互恵的な育ちあえる子育てこそが、真に子どもの幸せを育むものであるなど、「育ち合い」と「互恵性」をキーワードに活発な意見が交わされました。

平成22年6月27日(日) 於 本学「みづきホール」





幼児教育科

1. ファーストステップキャンパス、盛り上がる!

4月7日、新入生を迎えるファーストステップキャンパスを行いました。学内の環境に関係の深い場所を2・3年生が案内して周りました。その後、教員も交え、伝言ゲーム、風船割りの交流ゲームで盛り上がりました。

2. 舟下り芭蕉祭にボランティアで参加

4月4日(日)大垣市青年クラブ主催「舟下り芭蕉祭」に3年生と2年生がボランティアスタッフとして参加しました。スタンプラリー参加の親子に風車づくりの制作指導を担当し、大好評でした。

3. 3年生の実務研修が始まる

4月26日から(施設実習の期間を除く)の週3日間、保育所、幼稚園で3年生の実務研修が始まりました。7月14日まで行われます。

4. 子育てサロン「ぷつぶあ」、祝2,000組!

2年生を中心に運営に参加している学内の子育てサロン「ぷつぶあ」の利用者が、5月17日に2,000組を達成。感謝と記念の催しを行いました。

5. 3年生、施設実習へ

6月14日から23日、3年生が最後の実習となる施設実習へ出かけました。今年は岐阜県内の7施設で実習しました。

6. 垂井町乳幼児家庭教育学級にボランティア

7月15日(木)、垂井町宮代保育園で開催された「乳幼児家庭教育学級」に2年生8名が「手遊び」や人形劇を上演しました。地域の親子や園児など約100名に楽しんでいただくことができました。



7. 子育てサロン夏祭

7月22日子育てサロン「ぷつぶあ」夏祭を開催しました。学生たちの運営により「輪投げ」「ボウリング」「風船釣り」「エプロンシアター」などでサロンを利用された皆様に楽しんでいただきました。また、工作コーナーではうちわ作りを行いました。



8. 今後の予定

★1年生保育実習 9月6日～17日 ★第7回こども祭 平成23年1月23日(日)
★2年生幼稚園実習 9月6日～17日

歯科衛生科

今年度の1年生は定員を超える55名の学生が入学し、また3名の新任教員とともに毎日フレッシュな雰囲気で過ごしております。総合教養演習の中で初年次教育が始まり、その一つに「コミュニケーション能力の向上」をテーマとしたユニークな授業がありました。

グループワークや体験的学習もあり、日頃あまり交流のなかった者どうしがあらためて楽しみながらコミュニケーションをとっている姿が印象的でした。2年生は後期に始まる臨床・臨地実習に備え現在一生懸命その準備の学習を学内で行っているところです。9月には、京都にある「モリタ」や「松風」といった歯科工場の実地見学やユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行く研修旅行を楽しみにしております。3年生は臨床・臨地実習も中盤の第Ⅱ期を終える時期となり、最高学年の先輩らしく非常に頼もしく成長しております。

選択科目の卒業研究では、「歯磨剤」「口臭」「頸関節症」「歯科恐怖」等をテーマにした研究に熱心に取り組んでおり、10月には発表会も予定しています。今年の夏は例年になく暑いですが、我々教員も元気一杯の学生とともに頑張っていきたいと思っております。

学科長 石川隆義



歯科健康教育の
学習成果発表(3年生)
北小学校・中川小学校



卒業生による、
外部講師授業(3年生)



臨床・臨地
実習事例学習(2年生)

総合教養演習(1年生)
夏恒例ゆかたの
着付け講座

デザイン美術科

デザイン美術科では、「人としての成長」を第一に考え、教育環境の改善に取り組んでおります。学生一人一人が「成長する自身」を目標とし、クリエイターとしての自覚を持って学修されるようしっかりとサポートしていく所存です。



学科の取り組み・行事

4/29(木)

春の学外研修(滋賀県立近代美術館・金剛輪寺)

6/ 9(水)

ステイック オンド・マルトノ演奏会

大垣女子短期大学学習成果発表会

7/ 3(土)

マンガ似顔絵描き(アクアワールド大垣)

9/1(水)～2(木)

秋の学外研修 大王崎スケッチ旅行

9/6(月)～7(火)

マンガ原稿持込研修

2/8(火)～13(日)

第39回卒業記念展(岐阜県美術館)



音楽総合科

音楽総合科は、ピアノ・電子オルガン、ウインドアンサンブル、リペア、音楽療法の4コースそれぞれが学外演奏、施設におけるボランティアなど地域活動を積極的に行ってています。こういった活動が、学生にとって専門技術向上、就労意欲向上に大きな意味を成していると考えております。

また、今年度より成績評価に関して厳しい姿勢で臨んでおります。「欠席が4回までなら単位は出る」「試験結果が悪くても何とかなる」な

どの声を学生からよく耳にしていました。卒業後のことを考えると、成績評価の厳格化は必要であるとの結論に達しました。「原則欠席はない(病気などは除く)」「定期試験において到達点まで達していなければ単位は認めない」「授業態度を厳しくチェック」などを全教員に徹底しました。

今後も学生にとって良かれと思われることは、どんどん進めていきたいと考えております。

コースについて

1. ピアノ・電子オルガンコース

現在の2年次生入学時から「ピアノ・電子オルガンコース」というひとつのコースとなり、音楽講師になるために必要な、ピアノと電子オルガン両楽器との演奏法・表現法を学べる充実したカリキュラムになっています。

2. ウィンドアンサンブルコース

ウィンドアンサンブル(吹奏楽)、個人レッスンなどを通じて管楽器、打楽器の演奏技術を学びます。小学校の音楽鑑賞会など地域での演奏活動は年間40回以上行っています。授業で学んだ演奏技術をそれらの演奏会で実践することにより、演奏家としての自覚を育て、聴いていただく事の大切さを学びます。

特色ある授業、事業について

1. ピアノ・電子オルガンコース

各種音楽能力検定(グレード)対策の授業を多く開講し、より高いグレード取得を目指しています。



ショッピングモール
での演奏会風



2. ウィンドアンサンブルコース

「指導実習」の授業では将来指導者を目指す学生が、近隣の中、高校に実際に出向き各楽器の指導を行います。実際に中高生に指導することにより、将来講師として活動するにあたっての基礎づくりをすると共に、指導する事によって自身の技術向上にも役立てます。



学科トピックス

「週刊少年マガジン」2010年3月期MGP

(マガジングランプリ)佳作受賞 栗藤由衣さん(2008年マンガコース卒業生)

栗藤さんは、デザイン美術科1年在学時に、マックガーデン月刊コミックブレイド奨励賞を受賞。卒業後、デザイン美術科研究生を経て、現在アシスタントの仕事をしながらプロマンガ家を目指し、マンガ制作を続けています。講談社少年マガジンにて2008年『Genius Left Player』、2009年『死して尚死にきれぬ者達』で2回の奨励賞、今年3月期にはみごとMGP佳作を受賞しました。プロへの道を確実に歩んでいる先輩です。

金剛寺へ
行ってきました♪



3. リペアコース

今年度開設された新しいコースです。管楽器の修理を学び、卒業後は主に楽器店、楽器製造業への就職を目指します。大学、短大では全国初となるこのコースは1年次に管楽器修理の基礎を学び、2年次にはヤマハ株式会社「管楽器リペアグレード・Basic技術者認定コース」の取得を目指します。

4. 音楽療法コース

音楽療法に理解のある地域に位置する利点を活かして、授業内で積極的に施設実習を繰り返し行っています。実際の現場から学ぶことは多く、学生の意欲向上、将来の進路選択にも役立っています。卒業時には全国音楽療法士養成協議会認定音楽療法士(2種)と、社会福祉主任用資格が得られますが、福祉や医療の現場に必要な訪問介護員(2級)資格も取得できるような体制を整えており、就職に強い学生の育成に取り組んでいます。

3. リペアコース

リペア技術者の仕事は管楽器の修理をする事ですが、修理品の検品も大切な仕事の一つです。リペアコースでは管楽器の修理を学ぶことが中心になって行きますが、「楽器奏法」という授業の中では、吹奏楽で使用される代表的な楽器のレッスンを受け演奏技術を習得し楽器検品などに生かします。

4. 音楽療法コース

他校の養成コースと比較すると演習、実習の時間を多く設けています。「臨床における即興技法」では、1人1台に電子ピアノが行き渡る環境でオリジナルの教材を用い、音楽療法の目的に沿った即興演奏や作曲ができる事を目標として授業を行っています。

みんなで演奏♪
サイコ～品



<卒業生の活躍> 一部紹介

坂ノ睦『忍びの国』(作画)

・小学館月刊少年サンデー「ゲッサン」にて、現在連載中
・ゲッサン少年サンデーコミックス
『忍びの国』1巻(2009/12/12) 2巻(2010/4/12)

うまく描けるかな?...



月島綾『Sweet Season』(作画)

・YouTubeコミックスCOMIC魔法のiらんどシリーズ(2010/6/21)

<学生・研究生の活躍>

・月刊 ブレコミックフンフン
「ブンブンまんが大賞」 奨励賞

・中山道赤坂宿「家康イメージコンペ」 最優秀賞

バドミントン

復活

スケット求む!



バドミントンサークルはみんな仲が良くて、とても楽しいサークルです。それぞれが自分のペースで練習していく、体育館には笑いと歓声の輪が広がっています。夏と秋に大会があり、平日以外にもみんな熱心に練習しているので、ものすごく充実した学生生活を送っています。
(歯科衛生科 武藤 稚奈)

(みんなで汗を流そう!!)



Club

新しい「自分」の発見。
仲間との出会い！

バレーボール

大募集

仲良して楽しい！

毎週木曜日に練習しています。上下関係もなく学科も問わず明るいクラブです。人数が激減し、練習ももの足らず…。部員募集中です。

(幼稚教育科 河合 梨賀)

バスケットボール

復活



皆でやろうよ

元気いっぱい



週2回、体育館で練習をしています。みんなと一緒に楽しく頑張っています。一人ひとり目標をたてて練習します。一緒に大会や練習試合などに参加しませんか?

(幼稚教育科 三原 香菜)

山歩き会

自然を楽しむ！

1ヶ月に一度、近隣の野山や緑の多い場所に出向きます。これまで、養老の滝・米原市三島池・関ヶ原観光名所・三重県御在所岳等に行きました。

(デザイン美術科 大家 美奈都)

軽音部

毎週、みづき祭にむけて練習をしています! 午前・午後と2回のライヴを行うので是非見に来てください!(幼稚教育科 木原 彩夏)



夕焼けキャッチボール部

ひたすら投げる、
キャッチボールしようぜい!

キャッチして、投げて、走って、打って!!!! それだけで爽快です!!!!(デザイン美術科 山田 梨奈)



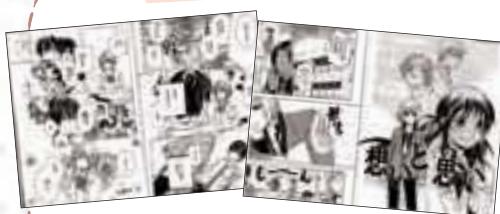
Song & Song

気分爽快!

週1回、光井先生の伴奏にあわせ、发声練習から始め、合唱曲からオペラまで、みっちりと練習します。みづき祭にはみづきホールにて発表をします。

(デザイン美術科 西尾 三希)

aim めざせ漫画家!



漫画家をめざすクラブです。学内でaim展を開いたり、持ち込みツアーのための合宿も行います。みづき祭にはaim冊子を発行します。(デザイン美術科 酒井 由紀子)

みんなでプロを目指そう!!



演劇部

いらっしゃいませ!!



“全米が泣いた!!!!まさかのクライマックス!!!!”みづき祭で演劇をします。綿密な打ち合わせや役作りのために日々練習をしています。是非見に来てね。

(幼稚教育科 柳元 未来)

地域歴史文化探訪会

岐阜県に残された様々な史跡を訪れ、歴史の奥深さを学んだり、観光を楽しんだりするのが主な活動内容です。名前だけだと堅苦しく感じるかもしれません、皆との交流を楽しみながらちょっととした旅気分で出かけられるので、歴史をあまり知らない人でも興味があれば大丈夫です。今までに関ヶ原の戦場跡や、竹中氏陣屋跡に出かけました。

(デザイン美術科 新藤 彩)

写真 時を撮る

写真を撮ることが大好きな子が集まったクラブです。カメラは常に持ち歩き(懸命にお金を貯めて一眼レフを購入しました★)普段から何気ない自然の風景の中できれいだなあと感じたものを撮影し、みんなで見せあいをしています。

(幼稚教育科 大濱 あす香)



入りたいクラブがあればすぐ連絡してみてね!
分からなければ学生支援課へたずねてみよう!

ACTIVITIES

漫画研究部

漫画大好き!

集まれ!! マンガ好き!

毎週部室に集まり、みづき祭で販売するポストカード・ステッカー等を作成中です。普段は漫画を読んだり描いたりお菓子を食べながら…楽しいクラブです。

(デザイン美術科 山木田 七海)



ピアノ・エレクトーンアンサンブル

音楽で繋がりたい★

毎週エレクトーンやピアノを中心に楽しくアンサンブルをしています。7月と8月にはコスモドームでプラネタリウムコンサートという大変貴重な体験を致しました。「いろいろなジャンルを楽しく!」演奏できる様に頑張っています。

(音楽総合科 橋本 歩実)

テニスクラブ

束縛されずに
自由にテニス!



トライアスロン

大募集

元気いっぱい!

各自でジョギングに励んでいます。秋にムーミンレディースマラソンに参加しまーす。



手話サークル

大募集

講師の先生に教えてもらいます。コミュニケーション能力を広げるために学びませんか?

大募集

学友会 だより

2010.秋みづき祭

学友会長：白井なな
幼稚教育科2年生



学友会では、10月23日に行われる「みづき祭」に向けて、活動しています。

今年のテーマは「POP★STAR」です。（1人1人が輝き、自信を持てるように。）

（楽しく、はじけてみづき祭ができるように。）といふ願いが込められています。

今までに無い企画など、考えて準備していきます。

学生だけでなく、先生、地域の方、事務局の方もみんなで、樂しけ、いそげましょう。

樂しそうな企画、良いアイデアがあれば、ぜひ聞かせて下さい。



研究室から

私が担当している音楽療法コースでは、音楽を使って人の心と身体の健康に役立てるための勉強をしています。

岐阜県には全国に先駆けて県立の音楽療法研究所が設立された経緯があり、本学近辺の多くの施設で音楽療法が取り入れられています。幸いなことに私たちが授業内で実践させていただくための施設には困ったことがなく、非常勤の先生も県の認定音楽療法士の資格を持っておられて、恵まれた環境で学生たちは学んでいます。



音楽総合科准教授 小西 文子



一方で、音楽療法そのものの効果については十分に検証されているとは言い難く、学生の就職先の多くが高齢者施設、障害者施設の職員兼務の音楽療法士となっています。力のある学生はそこで数年現場に出た上で音楽療法を業務の大半とするポジションに移ることができます。日々の介護や支援業務に追われて、音楽療法をする余裕がないといった卒業生の声も時たま耳にします。実力と意欲のある学生に思う存分持てる力を發揮してもらうために私のできることとして、後方支援の一環として、音楽

療法を導入していない施設へのデモンストレーションや、音楽療法の効果について実証するための基礎研究に取り組んでいます。

また、卒業生が職場で音楽療法を実践する上で困ったことや悩みがあれば時間を割いて対応するようにしています。3Kともいわれる福祉の現場で、イキイキとやりがいをもって働くことのできる人材を育成することを念頭において接しています。

幼児教育科

仕事へのやりがい

吉安 彩香 平成20年9月卒業
あゆみの家勤務



現在私は障害者施設「あゆみの家」で働いており、今年で2年目になります。大変なことが毎日起こますがとても楽しく過ごしています。そもそも幼児教育科を受けた理由は、もちろん保育士に憧れ働くことが夢だったからですが、施設実習に行ってみて障害者の方への認識が変わり、とても関心が深まりました。

健常者の方には「どう接していくのかわからず近寄りがたい」と思ってしまうものです。実際に私もその一人で、実習の始まりは距離を置いていました。ですが障害者の方は明るい方が多く、次第に実習も楽しくなり、やりがいを感じるようになりました。

今の職場は「あゆみの家」のなかでも24時間利用者さんがいらっしゃる施設にいます。利用者さんからすると「我が家」と同じです。ですから、私達は生活を支えることが主ですが、一緒に食事や買い物へ行ったりして、笑顔に繋げることも大切にしています。色々な障害をもつ方がいらっしゃいます。毎日が勉強ですが、やりがいのある仕事だと思っています。

実習は大変だと思いますが、勉強だけでなく、雰囲気や色々なふれ合いを自分の財産にしていってください。

歯科衛生科

笑顔を守る歯科衛生士

谷口 由香 平成16年3月卒業
Uクリニック竹内歯科勤務



「なぜ歯科衛生士になろうと思ったのですか?」この質問は短大の面接のとき、そして今でもふと聞かれたりします。

私は、今年で歯科衛生士7年目になります。学生時代の先生、友人、家族、誰が私の今の姿を想像できたでしょう…。

私が歯科衛生士になろうと思ったのは、特に強い思いがあつたわけではありません。しかし、今の私には歯科衛生士としての夢があります。「社会・地域・患者様に求められる歯科衛生士になりたい!!」強くそう思っています。臨床に出て、たくさんのこと勉強させていただきましたが、まだまだ毎日が勉強、新しい出会いや出来事が尽きない日々です。

現在、歯科衛生士の活躍の場は広がっています。少しでも多くの方の健康な笑顔、生活をサポートすることがこれから私たち歯科衛生士の役割であると思います。

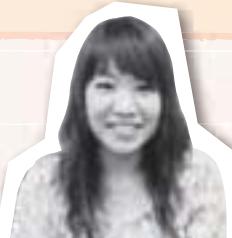
患者様の笑顔を守る歯科衛生士です。いつも笑顔を忘れずに!!

大垣女子短期大学での思い出

音楽総合科

社交性とコミュニケーションの大切さ…

宮田 知佳 平成21年3月卒業
ミッキースクール音楽講師



母も大垣女子短大の卒業生でしたし、音楽療法に興味があつたことからここを選びました。卒業して3年が過ぎました。楽器店契約の講師として、ピアノ、ドラム、リトミック、電子オルガンを教えています。生徒に教える以外にも発表会準備や生徒募集、楽器の販売にまつわる仕事などさまざまな業務があります。生徒は子どもから大人、お年寄りまで幅広い年代の方が来られますので、どんな方とも話ができる社交性とコミュニケーション能力が必要です。在学中に音楽療法を学び施設実習に行ったことは、レッスンの記録を正確に書くことや、レッスン計画の立て方、人前で臆せず話すことなどに活かされています。

学生時代は、県外からの友人に多く恵まれて楽しく過ごしました。友人とDolceというお菓子作りのサークルを立ち上げて、バケツプリンや巨大パフェを作ったことは今でも良い思い出です。

デザイン美術科

現在の近況

小野寺 麻友 平成21年3月卒業
大阪シーリング印刷(株)勤務



大垣女子短期大学の皆様、こんにちは。今の時期だと大学では2年生、3年生の方が卒業を間近に控え、卒論、卒業に忙しい日々を送っていると思います。私は昨年度OSPに入社し、現在はシールのデザインの版下作成や、抜き型のデータを作る仕事を担当しています。大学で学んだ知識を少しでも生かしたいと思い志望しましたが、実際はそれ以上の知識と技術が必要で、仕事を通じて日々勉強しています。私の仕事はデザインをするというものではありませんが、研修の時に人事の方が仰った「随所为主 立処皆真(自分が置かれた境遇においても、辛い仕事でも精一杯の努力をすれば、必ず人間的な成長や社会的な成果がついてくる、という意味)」という禅の教えを心に置き、精一杯の努力をして今後も仕事を臨みたいです。皆さんも辛いことがたくさんあると思いますが、投げ出さず、少しずつでもこなすことで確実に前進していく。その前進していく姿を仕事の場で見られるのを楽しみにしています。頑張って下さいね!!

Information

Ogaki Women's College



● 平成22年度 主な全学行事

- 後期授業 9月27日(月)～2月4日(金)
 後期定期試験 1月31日(月)～2月4日(金)
 おにごっこ研修会・大会 10月3日(日)
 音楽総合科定期演奏会 10月3日(日)
 十万石祭り 10月10日(日)
 みづき祭前日祭・みづき祭 10月22日(金)・23日(土)
 税金講座 11月10日(水)
 人権講座 12月8日(水)
 こども祭 1月23日(日)
 デザイン美術科卒業記念展 2月8日(火)～2月13日(日)
 音楽総合科卒業演奏会 2月11日(金・祝)
 平成22年度卒業証書・学位記授与式 3月20日(日)

● 人事短信

採用(平成22年4月1日付)



幼児教育科 教授
西川 正晃
 (保育原理I他担当)

歯科衛生科 講師
佐久間 英規
 (口腔外科学他担当)

よろしくお願ひします!!

歯科衛生科 講師
水嶋 広美
 (診療補助基礎I他担当)

歯科衛生科 講師
阿尾 敦子
 (歯周病予防技術法 I他担当)

平成21年度事業報告

学校法人大垣女子短期大学の平成21年度における事業の概要は、次のとおりです。

■ 事業の概要

1. 中・長期の財務計画について

平成16年度から20年度までの5年間の中期計画として、「各建物・設備等補修整備事業」を進め、より良い教育環境・明るく楽しいチャーミングキャンパスづくりを実施してきた。さらに21年度からは、新たに5年間を第二次中期計画と位置づけ、学生の確保を念頭に置いた「施設設備整備事業」をスタートした。本年度は、音楽総合科リペアコース開設に伴う専用教室の設置、デザイン美術科マンガコースにおける専用教室のリニューアルを実施し、学科の充実を図った。また大垣市及び本学同窓会からの多額の補助金(寄付金)をいただき、みづきホール(旧講堂)の全面リニューアルを実施した。

2. 重点施策について

○ 重点事業

A号館リペアコース専用教室を設置	25,125千円
D号館マンガコース専用教室をリニューアル	7,999千円
E号館講堂を全面改修(みづきホールに改名)	93,313千円

3. 資金保有と運用について

学校における資金は、学生の教育に還元されるべきものであることから、保有・運用については安全性を最優先として、国債・地方債・銀行預金等で運用している。

■ 学生数

平成21年

5月1日現在
 全学合計
 410名

学科別内訳

学 科	1年生	2年生	3年生
幼児教育科	23名	22名	45名
音楽総合科	42名	44名	—
デザイン美術科	54名	83名	—
歯科衛生科	19名	31名	47名

● 平成23年度 入試情報

オープンキャンパス 9/11(土)・9/25(土)・10/3(日)・10/23(土)・12/12(日)
 ※10/23(土)はみづき祭(大学祭)と同時開催

● 平成23年度入試 入試情報

入 試 区 分			願書受付期間	試験日	合格発表
推 薦 入 試	指定校推薦入試	普通科推薦 専願 専門学科・総合学科推薦 専願	平成22年 10/12(火)～11/1(月)	平成22年 11/7(日)	平成22年 11/12(金)
	推薦入試 第一次 ※特別奨学生選抜含	公募推薦 併願 専門学科・総合学科推薦 併願			
	自己推薦	専願			
	推薦入試 第二次	公募推薦 併願 専門学科・総合学科推薦 併願	平成22年 11/15(月)～12/1(水)	平成22年 12/5(日)	平成22年 12/8(水)
	自己推薦	専願			
	一般入試 第一次 ※特別奨学生選抜含	併願	平成23年 1/11(火)～25(火)	平成23年 1/30(日)	平成23年 2/3(木)
	一般入試 第二次	併願	平成23年 2/2(水)～14(月)	平成23年 2/16(水)	平成23年 2/19(土)
	一般入試 第三次	併願	平成23年 3/1(火)～11(金)	平成23年 3/16(水)	平成23年 3/17(木)
	同窓生ファミリー入試	専願	平成22年 10/12(火)～11/1(月)	平成22年 11/7(日)	平成22年 11/12(金)
特 別 選 抜 入 試	社会人入試第一次	併願	平成22年 11/15(月)～12/1(水)	平成22年 12/5(日)	平成22年 12/8(水)
	社会人入試第二次	併願	平成23年 1/11(火)～25(火)	平成23年 1/30(日)	平成23年 2/3(木)
	社会人入試第三次	併願	平成23年 3/1(火)～11(金)	平成23年 3/16(水)	平成23年 3/17(木)
	外国人留学生入試	併願	平成23年 1/11(火)～25(火)	平成23年 1/30(日)	平成23年 2/3(木)
海外帰国子女入試					

入学検定料 30,000円 (同窓生ファミリー入試を除く)

※同窓生ファミリー入試とは、本学同窓生(在学生含む)の子女・姉妹を対象とした入試です。(入学検定料20,000円)
 本学同窓生(在学生を含む)の子女・姉妹および本学卒業生が入学した場合、「同窓生ファミリー奨学生」として入学後10万円を給付します。(全入試区分対象) オープンキャンパス及び入学試験につきましては教務・広報課までお問い合わせください。
 教務・広報課TEL.0584-81-6819(直通)

■ 財務の概要

1. 収支計算書の概要

学生生徒納付金収入について、前年度に比べ全体の学生数が約70名減少したため約70,000千円の減収となった。資産売却収入を計上しているが、これについては国債・地方債の買い替えを行った。

支出について、人件費は前年度より職員数が若干名減少したため、本年度は前年度より減少している。またその他の経費についてはできるだけ削減を図っているが、本年度は次年度からのリペアコース新設に伴う消耗品の購入等のため、前年度より若干増額している。

2. 貸借対照表の概要

固定資産について、本年度の主なものとして、A号館リペアコース専用教室設置等を実施したが、本年度の固定資産取得については、減価償却引当特定資産(その他の固定資産)の取り崩しを行わず、現金預金(流動資産)より支出した。

また、固定負債については主として、次年度学納金の前受金約200,000千円、経費未払金約4,000千円等であり、借入金は無い。



資金収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで(単位:円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生徒納付金収入	415,240,000	416,235,000	△995,000
手数料収入	7,600,000	7,929,000	△329,000
寄付金収入	44,000,000	43,945,000	55,000
補助金収入	112,050,000	112,269,724	△219,724
国庫補助金収入	92,000,000	92,024,000	△24,000
地方公共団体補助金収入	20,050,000	20,245,724	△195,724
資産運用収入	15,000,000	15,388,467	△388,467
資産売却収入	29,000,000	29,108,220	△108,220
事業収入	1,300,000	1,155,068	144,932
雑収入	4,000,000	4,352,043	△352,043
前受金収入	211,000,000	200,241,225	10,758,775
その他の収入	471,855,889	484,746,997	△12,891,108
資金収入調整勘定	△168,223,665	△168,364,242	140,577
前年度繰越支払資金	660,245,510	660,245,510	—
収入の部合計	1,803,067,734	1,807,252,012	△4,184,278
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	398,000,000	397,181,918	818,082
教育研究経費支出	118,500,000	111,558,195	6,941,805
管理経費支出	73,500,000	67,232,002	6,267,998
施設関係支出	68,050,000	65,717,996	2,332,004
設備関係支出	54,000,000	50,782,501	3,217,499
資産運用支出	494,000,000	496,834,000	△2,834,000
その他の支出	8,889,435	8,846,078	43,357
予備費	20,000,000	0	20,000,000
資金支出調整勘定	△11,014,813	△4,859,837	△6,154,976
次年度繰越支払資金	579,143,112	613,959,159	△34,816,047
支出の部合計	1,803,067,734	1,807,252,012	△4,184,278

消費収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで(単位:円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生徒納付金	415,240,000	416,235,000	△995,000
手数料	7,600,000	7,929,000	△329,000
寄付金	48,000,000	48,676,001	△676,001
補助金	112,050,000	112,269,724	△219,724
国庫補助金	92,000,000	92,024,000	△24,000
地方公共団体補助金	20,050,000	20,245,724	△195,724
資産運用収入	15,000,000	15,388,467	△388,467
資産売却差額	5,200,000	5,272,900	△72,900
事業収入	1,300,000	1,155,068	144,932
雑収入	4,000,000	4,352,043	△352,043
帰属収入合計	608,390,000	611,278,203	△2,888,203
消費収入の部合計	608,390,000	611,278,203	△2,888,203
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	398,000,000	397,181,918	818,082
教育研究経費	217,500,000	211,225,700	6,274,300
管理経費	88,500,000	81,562,010	6,937,990
資産処分差額	12,000,000	10,658,309	1,341,691
予備費	10,000,000	0	10,000,000
消費支出の部合計	726,000,000	700,627,937	25,372,063
当年度消費支出超過額	△117,610,000	△89,349,734	—
前年度繰越消費支出超過額	△1,095,522,655	△1,095,522,655	—
基本金取崩額	20,000,000	28,994,177	—
翌年度繰越消費支出超過額	△1,193,132,655	△1,155,878,212	—

監査報告

以上監査の結果、正確なお適正であることを認めます。

平成22年3月25日

会計監査 高橋利彰
会計監査 吉田紀子

※卒業記念品アラバムは平成22年5月頃に出来上がるため今年度はその分をプールしておく事になります

貸借対照表

平成22年3月31日現在(単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,065,309,408	4,068,675,482	△3,366,074
有形固定資産	2,742,761,354	2,746,078,813	△3,317,459
土地	509,302,762	509,302,762	0
建物	1,634,393,929	1,654,241,139	△19,847,210
その他の有形固定資産	599,064,663	582,534,912	16,529,751
その他の固定資産	1,322,548,054	1,322,596,669	△48,615
流動資産	638,498,809	687,175,892	△48,677,083
現金預金	613,959,159	660,245,510	△46,286,351
その他の流動資産	24,539,650	26,930,382	△2,390,732
資産の部合計	4,703,808,217	4,755,851,374	△52,043,157
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	0	0	0
流動負債	219,449,371	182,142,794	37,306,577
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	219,449,371	182,142,794	37,306,577
負債の部合計	219,449,371	182,142,794	37,306,577
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	5,340,237,058	5,369,231,235	△28,994,177
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	200,000,000	200,000,000	0
第4号基本金	100,000,000	100,000,000	0
基本金の部合計	5,640,237,058	5,669,231,235	△28,994,177
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△1,155,878,212	△1,095,522,655	△60,355,557
消費収支差額の部合計	△1,155,878,212	△1,095,522,655	△60,355,557
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,703,808,217	4,755,851,374	△52,043,157

●大垣女子短期大学 みずき会 平成21年度収支決算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで(単位:円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
会費収入	12,600,000	12,015,000	△ 585,000
奨学金返金	50,000	176,000	126,000
雑収入	10,000	2,555	△ 7,445
前年度繰越金	5,972,246	5,972,246	0
合計	18,632,246	18,165,801	△ 466,445
支出の部			
科目	予算	決算	差異
学生助成	8,705,000	8,601,000	104,000
学友会助成	1,000,000	1,000,000	0
みずき祭助成	500,000	500,000	0
卒業記念品	3,510,000	3,456,000	54,000
卒業記念パーティ助成	1,095,000	1,095,000	0
特別講座助成	500,000	500,000	0
学外研修助成	2,100,000	2,050,000	50,000
大学助成	3,100,000	3,067,511	32,489
図書購入助成	1,000,000	999,147	853
教育事業助成	1,200,000	1,190,574	9,426
環境維持助成	400,000	377,790	22,210
50周年記念積立	500,000	500,000	0
奨学生金	1,600,000	388,000	1,212,000
貸与奨学生金	1,500,000	388,000	1,112,000
銀行提携ローン利子補給	100,000	0	100,000
運営費	750,000	614,275	135,725
会議費	20,000	0	20,000
事務費	50,000	50,000	0
通信費	100,000	106,790	△ 6,790
印刷費	450,000	331,705	118,295
見舞・弔慰費	100,000	114,625	△ 14,625
雑費	30,000	11,155	18,845
予備費	200,000	0	200,000
翌年度繰越金	3,977,246	5,454,565	△ 1,477,319
合計	18,632,246	18,165,801	△ 466,445

「おにごっこ」で子どもの健やかな発達を



おにごっこ運動推進委員会理事 有岡 登美
(幼児教育科 学科長教授)

昨今、子どもが集団で遊ばなくなったり、遊び方を知らないといわれます。屋外で子どもの遊ぶ姿が見られなくなり、友だちと遊ぶといつてもほとんどが家の中でお互いが背を向けて、コンピューターゲームをしているのが当たり前になっています。

コンピュータがシミュレートするゲームは、遊具はもとより人間の対戦仲間も必要としません。バーチャルで敵をやっつける、殺す、リセットすればまた生き返る、ゲームが終了してまたスタート・ボタンを押し、電源を切るまで続ける…。果してこのような遊びが、子どもの健やかな成長に繋がるのでしょうか？

「おにごっこ」は、昔から子ども遊びの代表的なものです。鬼が子どもを追いかけ、子どもは鬼から逃げるという簡単なルールです。

しかし、「おにごっこ」には様々な種類があります。「たかおに」「いろおに」「かべおに」「こおりおに」「しつぽおに」「宝取りおにごっこ」「宝集めおにごっこ」「だるまさんがころんだ」などなど、年齢・性別に関係なく遊ぶ事が出来ます。また、「おにごっこ」の多くは屋外で行われることによって、自然や季節を感じ、情操や感性を高めることに結び付きます。

子どもは幼児期にこのような体験を踏まえて、基礎体力を養い、危険を予測し、子ども同士の規範意識を高め、体を使ったコミュニケーションを身につけるとともに遊びそのものを創造していく力をつけていきます。

本学ではおにごっこ博士として活躍されている羽崎泰男氏を客員教授として迎え、保育のスキルアップのために「おにごっこ」を幼児教育科の教科として取り組んでいます。また、全学科の共通科目「スポーツ演習」にも積極的に取り入れ、学生にとって必要な体力アップや仲間づくりに生かされています。

本学に設置されている「おにごっこ」運動推進委員会事務局を窓口として、近隣の保育園・幼稚園・学校をはじめとして、全国的な普及に努めています。



幼稚園でも楽しめる、宝集めおにごっこ

元気に体を動かしましょう



室内で親子でも
楽しめるおにごっこ



おにごっこ博士、
羽崎泰男氏(本学客員教授)



年齢に関係なく楽しめる。
じゃんけん おにごっこ



競技性の高い、
宝取りおにごっこ

大垣女子短期大学 〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 TEL.(0584) 81-6811(代) FAX.(0584) 81-6818 <http://www.ogaki-tandai.ac.jp>
Ogaki Women's College 【学科構成】幼児教育科・歯科衛生科・音楽総合科・デザイン美術科



マスコットキャラクター
みすきー



ACCREDITED
2005

◆(財)短期大学基準協会による第三者評価が始まった初年度の平成17年度、全ての評価領域において「適格」認定。



◆平成19年度、全ての校舎、耐震補強完了。



平成20年度 文部科学省 教育GP
OQ
大垣女子短期大学
地域の子育て施策を活用した
教育方法の改善

◆大垣女子短期大学の教育活動が平成20年度文部科学省選定の「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に選ばれました。

大垣女子短期大学通信

みすき 2010秋号
No.25

発行日／平成22年9月6日

編集／広報委員会

発行／大垣女子短期大学

E-mail tosho@ogaki-tandai.ac.jp